データ入稿前のチェックポイント ※必ずご確認ください。

【共通事項】
- □ 必ず「弊社のテンプレート」でご入稿お願いします。
  ※それ以外のファイルは再入稿いただきます。
- □ aiデータで作成の場合、回転によるエフェクトの変形・崩れを防ぐため、
  アピアランスの分割をしてください。
- □ 必ずカンプデータ（仕上がりイメージ）もお送りください。

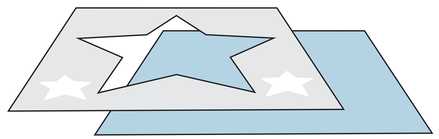
【作成時、注意事項】
- □ 文字データは全てアウトライン化をお願いします。
- □ ドキュメントのカラーモードはCMYKでお願いします。
- □ 必ずデザインデータは指定範囲でクリッピングマスクをかけてください。
- □ pngデータは使用不可でお願いします。（仕上がり補償いたしかねます）
- □ 印刷しない不要なデータは削除をお願いします。
- □ オーバープリントのチェックは外してください。
  イラストレーター「ウィンドウ」→「属性」にてチェックの確認
- □ aiデータの「ドキュメントのラスタライズ効果設定」は十分な解像度でご入稿ください。
  ※解像度が低い場合、仕上がりが悪くなる可能性をご了承ください。推奨300ppi以上。
- □ グラデーション表現の再現性については、保証いたしかねます。
- □ 使用されているリンク画像（.psd.jpg.epsのみ）は十分な解像度でご入稿ください。
  解像度が低い場合、仕上がりが悪くなる可能性をご了承ください。推奨150dpi以上。

【商品毎、確認事項】
- □ 基本は1層白印刷のみです。カラー印刷の追加は別料金となります。（図1参照）
- □ 白印刷のデータはK100%で作成してください。（図2参照）
- □ 使用されているリンク画像（psd.jpg.epsのみ）のカラーモードは、
  グレースケールまたはモノクロ2階調で作成してください。
- □ 文字などの重要なデータは赤線内に配置してください。
  （土台で隠れる部分がある商品です。）
- □ デザインがカットラインまで配置されている場合は、
  塗り足しまでデザインを作成してください。
- □ レイヤー名「カットライン」にカットラインデータを入れてください。
- □ カットラインはベクター形式で作成してください。
- □ カットラインのオープンパス・極端に尖っているパス・
  複雑なパス・複合パスは使用不可です。
  （意図した通りに再現されない恐れがございます）
- □ 下部にベタ部分は多い場合、光が上部に届きにくくなります。（図3参照）
- □ カットラインは土台の外側に入れないでください。（図４参照）
- □ デザインは土台の外側に入れないでください。（図４参照）
- □ 指定がない場合、アクリルの角部分にR4mmの丸みをつけます。

白印刷データは必ずK100%で入れてください

基本は1層白印刷のみです。

白部分は印刷されません



アクリル

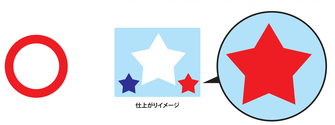
カラー印刷追加の場合（別料金）

レイヤーを新しく作成後、
「1層 カラー印刷」をレイヤー名にし、
データはCMYKで作成してください。
画像データもCMYK作成をお願いします。

それぞれの層のズレにご注意ください

「ご入稿いただいた1層 カラーおよび2層 白印刷のデータがずれている場合、当社では仕上がりの責任を負いかねますのでご了承ください。1層 カラーと2層 白印刷データのずれのないようご注意ください。

「1層 カラー」と「2層 白印刷」が重なっている場合



「1層 カラー」と「2層 白印刷」がズレている場合

白印刷だけが見えてしまう部分あり

LEDアクリルベース 2G

～H600mm×～W1,750mm

- 塗り足しライン：全面に印刷する場合は、必ず仕上がりラインより5mmはみ出して塗り足して下さい。
- 最大加工可能範囲線：このライン内にホールロゴ、イラスト等をレイアウトしてください。
- 文字・切れると困るデザイン・発光部分はこのラインより内側に配置してください。
- 土台：デザイン等は完全に隠れてしまう部分です。

（図1） スミの部分がホワイトインクで印刷され、光を通します。

※完成イメージ

（図2）

（図3）

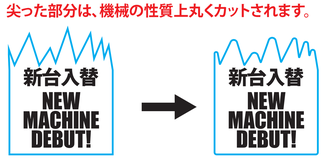
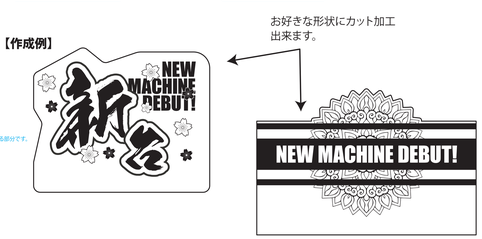
（図4）

部分は土台で隠れます。

完成イメージ

「カットライン」はパスで作成し、レイヤー名「カットライン」に入れてください。
※オープンパス・極端に尖っているパス・複雑なパス・複合パス使用不可です。

【カット加工についてのご注意】
尖った部分は、機械の性質上丸くカットされます。



【作成例】